

農福連携推進東海ブロック シンポジウムの開催概要

平成31年2月

東海農政局、東海北陸厚生局

ノウ フク

農業と福祉がつながって、日本を元気に！

「農福連携推進東海ブロックシンポジウム」開催概要

目 次

- 1 「農福連携推進東海ブロックシンポジウム」プログラム . . . P 1
- 2 「農福連携推進東海ブロックシンポジウム」の概要 . . . P 3
 - 【基調講演①】 「農福連携の情勢と全国動向について」
 - 【基調講演②】 「足助病院における農作業と健康に関する研究調査について」
 - 【取組事例発表①】 「八重田ファームの取組」
 - 【取組事例発表②】 「リハスファームの取組」
 - 【施策紹介①】 「農林水産省における農福連携施策」
 - 【施策紹介②】 「厚生労働省における農福連携施策」
 - 【施策紹介③】 「東海農政局における農福連携について」
 - 【施策紹介④】 「東海北陸厚生局における農福連携について」



農業と福祉がつながって、日本を元気に！

1 「農福連携推進東海ブロックシンポジウム」プログラム

ノウハウ

農林水産省

農業と福祉がつながって、日本を元気に！



農福連携推進 東海ブロックシンポジウム

東海地域における自主的・自立的な農福連携の取組の促進、農福連携に携わる人材の育成及び地域活性化の推進等に資するため、農福連携推進東海ブロックシンポジウムを開催します。

日時 平成31年1月31日（木）13:30～16:30（受付13:00～）

会場 愛知県社会福祉会館 5階 第1研修室 **定員** 180名

〒461-0011 名古屋市東区白壁一丁目50番地

※駐車場は確保していませんので、公共交通機関等の利用をお願いいたします。

参加費 無料

内容 1. 開会の挨拶 東海農政局長 (13時30分)

2. 基調講演
- ① 「農福連携の情勢と全国動向について」
一般社団法人JA共済総合研究所 主任研究員/
一般社団法人日本農福連携協会 顧問
濱田 健司 氏
 - ② 「足助病院における農作業と健康に関する研究調査について」
愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院 院長
早川 富博 氏 (15時00分)
- ～休憩（10分）～

3. 取組事例発表 ① 社会福祉法人まつさか福祉会 八重田ファーム（三重県松阪市）
所長 前田 佳孝 氏

② 株式会社クリエイターズ リハビリ型就労スペース「リハス」（石川県金沢市）
生活支援員（介護福祉士）小松 真由美 氏

4. 施策等の紹介 農林水産省、厚生労働省

5. 閉会の挨拶 東海北陸厚生局長 (16時30分)

基調講演

はまだ けんじ
濱田 健司 氏

東京農業大学大学院修了。
現在、JA共済総合研究所主任研究員 /
日本農福連携協会顧問 / 農林水産省
農林水産政策研究所客員研究員 /
「農」の機能発揮支援アドバイザー。
障害者の就農に関する調査研究とそれを
広めるための意識啓発、助言、講演などの活動を行う。人間と自然の多様性
、そして「農」の福祉力や自然農を含めた農福連携に注目し、地域や人間関
係まで包括した共生・共創の「農生業（のうせいぎょう）」、「里マチ」を提唱
している。



はやかわ とみひろ
早川 富博 氏

名古屋市立大学医学部卒。
現在、愛知県厚生農業協同組合連合会
足助病院院長
「保健活動」「地域への健康に関する啓発活動」に係わ
る傍らで、地域住民と共に「地域（まち）づくり活動」に
も精力的に力を注ぎ、平成22年に『開かれた病院』
『コミュニティーの場』を目指した活動として、「三河中山間地域で安心して暮
らし続けるための健康ネットワーク研究会」を設立。研究会の中の地域住民を
中心とした分科会は2ヶ月に1回の割合で意見交換会を実施している。
専門は消化器内科。



主催 東海農政局、東海北陸厚生局

後援 岐阜県、愛知県、三重県、JA岐阜中央会、JA愛知中央会、JA三重中央会、JA岐阜厚生連、JA愛知厚生連、
JA三重厚生連、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、名古屋大学大学院生命農学研究科

問合せ先 東海農政局 農村振興部 農村計画課（担当：稲垣） TEL 052-223-4629 FAX 052-220-1681

2 「農福連携推進東海ブロックシンポジウム」の概要

東海農政局は、平成31年1月31日（木曜日）、東海地域における自主的・自立的な農福連携の取組の促進、農福連携に携わる人材の育成及び地域活性化の推進等に資するため、「農福連携推進東海ブロックシンポジウム」を初めて東海北陸厚生局と連携して共催で開催しました。

当日は障害者や高齢者における農福連携への参画に関心のある団体、福祉事業所、農業者、行政機関の関係者等約100名の皆様にご参加いただき、基調講演と取組事例発表、施策の紹介を行いました。

「農福連携推進東海ブロックシンポジウム」の開催概要についてご紹介します。

【基調講演①】「農福連携の情勢と全国動向について」

（一般社団法人JA共済総合研究所 主任研究員/一般社団法人日本農福連携協会 顧問 濱田健司氏）

農業関係者の課題である労働力不足や耕作放棄地の増加等、また福祉関係者の課題である障害者の就業の場の確保や工賃の向上等、各々の課題解決の方策として有効である農福連携の意義と、障害者の就労の現状、農福連携の取組の必要性等について説明がありました。これから期待される農福連携は、「『農福+αの連携』」の取組を行うことにより地域が元気になる」として、神奈川県平塚市の社会福祉法人によるJA等との「農福商工連携」の取組事例の紹介があり、今後の農福連携の方向として、地域や人間関係まで包括した共生・共創の「農生業（のうせいぎょう）」、「里まち」を提唱されていました。



基調講演を行う濱田主任研究員

「農福商工連携」の取組事例等を講義の中で紹介

【基調講演②】「足助病院における農作業と健康に関する研究調査について」
(愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院 院長 早川富博氏)

日本農村医学会における食と健康に関するアンケート調査結果や足助病院による認知症アンケート調査結果等により、農業と高齢者の健康に関する研究調査について紹介があり、「「田畑の世話をする」ことにより認知症（＝知的障害）や鬱（うつ）になりにくい」、「農作業をしている高齢者が、していない高齢者（特に80歳以上の女性）に比べ、心臓が丈夫である」と報告されました。これらを受けて、「農作業は、高齢者にとっても精神的にも身体的にも健康に好影響を与える可能性がある」、「高齢者による身体的な障害がある人でも可能な農作業を工夫する必要がある」と示唆されていました。



基調講演を行う早川院長

「田畑の世話をする」ことにより認知症、うつになりにくい、等を講義の中で報告

次に農福連携に取り組んでいる福祉事業所の立場から、取組事例の発表がありました。

【取組事例発表①】「八重田ファームの取組」

(社会福祉法人まつさか福祉会 八重田ファーム 所長 前田佳孝氏) (三重県松阪市)

八重田ファームでは、イチゴの栽培を中心とした露地野菜の生産やジャム等の加工販売の活動に取り組んでいることを紹介されました。活動していく中で、農福連携におけるスタッフに必要なものや利用者支援で意識していること等について、具体的な内容(何事にも試してみるチャレンジ精神、地元の祭への参加等地域住民とのコミュニケーション等)を踏まえ、発表されました。



取組事例発表を行う前田所長



八重田ファームでの生産活動の様子(イチゴ栽培)

【取組事例発表②】「リハスファームの取組」

(株式会社クリエイターズ リハビリ型就労スペース「リハス」
生活支援員(介護福祉士)小松真由美氏)(石川県金沢市)

障害者が農作業に携わるリハスの現場では、約30種類のハーブを農薬・化学肥料を一切使用せずに栽培し、ハーブを使ったクラフトワークショップを積極的に取り組んでいることを紹介されました。また農業事業の現場において、介護福祉士の視点も踏まえ、障害の内容(知的障害、総合失調症、脳卒中による高次脳機能障害)による農作業の効果等について発表されました。



取組事例発表を行う小松支援員



ハーブ農園ペザンでのハーブ栽培の様子



最後に農林水産省及び厚生労働省の担当者から、平成31年度予算概算決定された農福連携に関する施策等の紹介がありました。

【施策紹介①】「農林水産省における農福連携施策」

(農林水産省農村振興局農村政策部都市農村交流課 茂岡専門官)

平成31年度予算概算決定された農山漁村振興交付金（農福連携対策）の拡充内容（対象を生活困窮者まで拡大、林福及び水福の取組の支援、農業版ジョブコーチ、マッチングを行う施設外就労コーディネーターの育成を支援）を中心に紹介しました。

【施策紹介②】「厚生労働省における農福連携施策」

(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 服部係長)

平成31年度予算概算決定された農福連携による障害者の就農促進プロジェクトの概要や、平成30年度の補助金を活用して42道府県が本事業を実施（香川県、岐阜県は当該補助事業以外で実施しているため、実質44道府県で実施）、農業と福祉の連携事例を紹介しました。

【施策紹介③】「東海農政局における農福連携について」

(東海農政局 島村地方参事官)

東海農政局における関係機関と連携した農福連携の取組や農山漁村振興交付金を活用した事業団体の実施状況、地域におけるモデル事業（三重県名張市）の概要、独自取組として障害福祉サービス事業所等に行ったアンケート調査結果について、農業技術指導や販路対策が課題であると紹介しました。

【施策紹介④】「東海北陸厚生局における農福連携について」

(東海北陸厚生局 小平健康福祉部長)

東海北陸厚生局が独自取組として、利用者が農業に取り組む高齢者施設・事業所に行ったアンケート調査結果について、農業の取組の実態やその取組効果等を紹介しました。